電池の交換のしかた

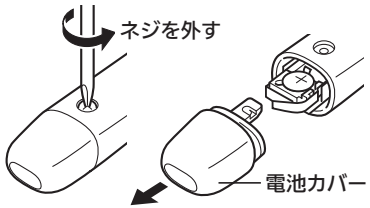
使用電池：アルカリマンガンボタン電池 LR41（市販品）

電池交換表示

電源を入れたときに右図の表示が出たら、電池を交換してください。

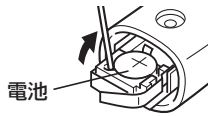
交換のしかた

1 本体裏面の電池カバーのネジを、小型ドライバーで外し、カバーを取り外す

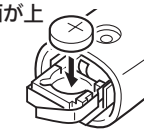


2 細くて折れにくい棒で、電池を取り外す

※電池は飛び出すことがありますので、注意してください。



3 電池を（＋を上にして）、図のように入れる



4 電池カバーを元通りに取り付けて、ネジで固定する

お願い

- お買い求めのときは、本体にお試し用電池が内蔵されています。お試し用電池は、電池寿命の回数以内に切れることがありますので、ご了承ください。
- 使用済み電池・本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

使い終わったら

体温計は、いつも清潔にお手入れしてください。

- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞ってふき取った後、やわらかい布でからぶきしてください。
- アルコールを使って汚れをふき取る場合、表示部にかからないようにしてください。
- 下記のことを守ってください。故障の原因になります。
  - 汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
  - 本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないように注意してください。
  - 体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
  - 超音波洗浄をしないでください。

体温計は、付属の収納ケースに入れて保管してください。

- 下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。
  - 水のかかるところ
  - 高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりの多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ
  - 傾斜、振動、衝撃のあるところ
  - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ

仕様

医療機器認証番号	219AGBZX00039000
類別	機械器具 16 体温計
一般的名称	電子体温計
医療機器分類	管理医療機器
販売名	オムロン電子体温計 MC-170
電源電圧	DC 1.5V（アルカリマンガンボタン電池 LR41×1 個）
電池寿命	約 1100 回（実測：約 10 分）
感温部	サーミスタ
測定方式	実測
体温表示	3 桁＋℃表示、0.1℃毎
測定精度	±0.1℃（標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合）
測定範囲	32.0～42.0℃
使用環境温湿度	周囲温度：＋10～＋40℃、相対湿度：30～85%RH
保管環境温湿度	周囲温度：－20～＋60℃、相対湿度：30～95%RH
本体質量	約 13 g（電池含む）
外形寸法	幅 19.6× 長さ 129.7× 厚さ 13.2 mm
付属品	●お試し用電池（アルカリマンガンボタン電池 LR41×1 個） ●収納ケース ●取扱説明書（品質保証書付き）

EMC 適合　本商品は EMC 規格　IEC 60601-1-2：2001 に適合しています。

オムロン健康商品・修理・別売品・消耗品に関するお問い合わせは

オムロン
お客様サービスセンター
ダイヤルは正確に

電話 0120-30-6606（オムロン）通話料無料
FAX 0120-10-1625 通信料無料

受付時間　9:00~19:00 月～金（祝日を除く）
都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更させていただくことがありますのでご了承ください。

ホームページ　http://www.healthcare.omron.co.jp/
※通信料はお客様ご負担となります。（別売品・消耗品は、インターネットでもお求めいただけます。）

製造販売元　オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後 1 年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ）品質保証書の提示がない場合。
   （ホ）品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   （ヘ）消耗部品。
   （ト）故障の原因が本商品以外に起因する場合。
   （チ）その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 補修用部品は製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。

品質保証書

このたびは、オムロン商品をお買い求めいただきありがとうございました。商品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理または交換いたします。
※商品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

販売名	オムロン電子体温計　MC-170
ご芳名	
ご住所	
TEL	（　　）

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただいてください。

お買い上げ店名	㊞
住所	
	TEL　（　　）
お買い上げ年月日	年　月　日

製造販売元　オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

OMRON

取扱説明書 品質保証書付き

お知らせブザー付きのスタンダードタイプ

オムロン電子体温計 MC-170 わき・口中

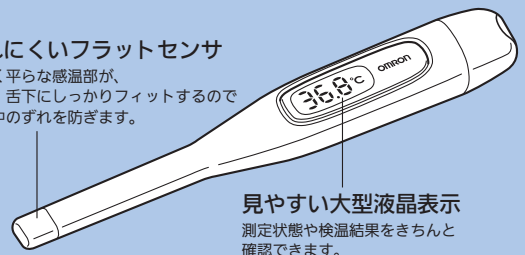
医療機器認証番号：219AGBZX00039000

けんおんくん

- このたびは、オムロン商品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書は、いつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

A Good Sense of Health

ずれにくいフラットセンサ
大きく平らな感温部が、わき・舌下にしっかりフィットするので検温中のずれを防ぎます。



見やすい大型液晶表示
測定状態や検温結果をきちんと確認できます。

〈付属品〉
- 収納ケース

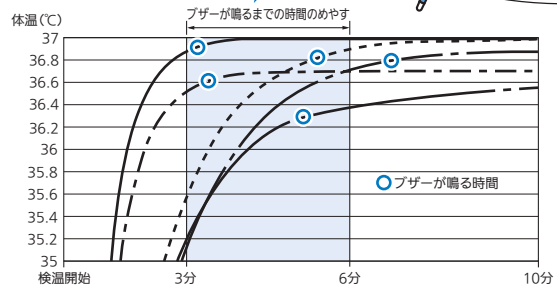
検温のしくみ

温度上昇がほとんどなくなるとブザーが鳴ってお知らせします。

ピピピピィ、ピピピピィ、ピピピピィ

※人によって温度上昇の遅い人と速い人がありますので、ブザーが鳴るまでの時間、そのときの温度には個人差があります。あらかじめわきを閉じて温めておくと上昇が速いです。

〈わきで検温した場合〉



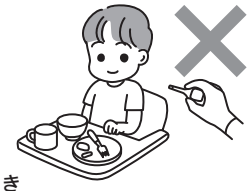
一般的に実測式体温計の場合、正しく測るには、わきで約 10 分（口中で約 5 分）の時間が必要です。

温度は測り始めるとともに徐々に上がっていきます。温まって温度変化がなくなるまでに、わきをしっかり閉じて約 10 分（口中では口をしっかり閉じて約 5 分）かかるといわれています。

こんなときは正しく測れません

- 運動や入浴、飲食の直後

30 分以上時間をあけましょう。



- わきの下が汗ばんでいるとき
- 長時間布団の中にいたとき

わきから汗をきれいにふき取りましょう。

- 起床直後に動き出したとき

起床直後の動く前に測るか、動き出した後 30 分以上時間をあけましょう。

※起床直後に動き出したときは、体温が上昇し高くなっています。

実際の測りかたは、開いて内面を見てください

1649784-8E

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

●ここに示した内容は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
●表示と意味は次のようになっています。

■警告、注意について

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害＊の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

■図記号の例

❗	●記号は強制（必ず守ること）を示します。（左図は“必ず守る”）
🚫	⃠記号は禁止（してはいけないこと）を示します。（左図は“禁止”）

⚠警告

❗ **検温結果の自己診断や治療は危険です。**
医師の指導に従ってください。
自己診断は、病気が悪化する原因になります。

❗ **乳幼児の手の届かないところに保管してください。**
また、お子様だけでのご使用はさけてください。
自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。

❗ **電池やネジは乳幼児の手の届かないところに置いてください。**
乳幼児が電池やネジを飲み込む恐れがあります。飲み込んだときは、すぐ医師の治療を受けてください。

🚫 **本商品はわきや口中用の体温計です。**
それ以外（耳など）で検温しないでください。
正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。

🚫 **本体が水などでぬれた状態で測定しないでください。**
正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。

⚠注意

❗ **電池の⊕⊖極を正しく入れてください。**
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

❗ **指定の電池を使ってください。**
発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

🚫 **本体を噛まないでください。**
事故や故障の原因になります。

🚫 **複数の人で併用しないでください。**
病原菌の感染する原因になります。

🚫 **電池を加熱したり、火の中に入れたりしないでください。**
破裂などにより、けがの原因になります。

🚫 **本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないようにしてください。**
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

🚫 **強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。**
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

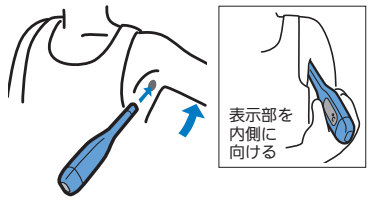
🚫 **分解や修理、改造をしないでください。**
検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

正しく測るために

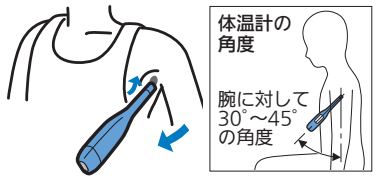
正しい方法で体温を測らなかった場合、必ずしも測定精度が保証されない可能性があります。

わきで測る場合

•わきの中心にあてる



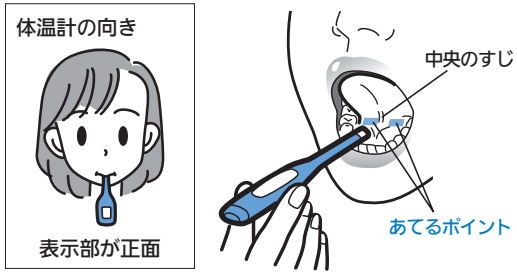
•下から少し押し上げるようにはさむ（わきをしめる）



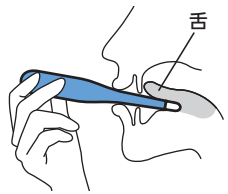
※乳幼児のお子様は、わきが浮かないように腕を軽く押さえてください。

口の中で測る場合

•舌下のつけ根の左右どちらかにあてる



•舌で押さえて口を閉じる

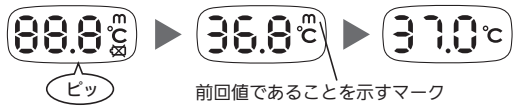


•体温計がずれないように手で支える

体温の測りかた（検温）

1 体温計の電源を入れる

表示部が全点灯 → **前回測った体温が表示される（前回値表示）** → **検温準備中**



2 「℃」が点滅したら、感温部をわきの中央にあて、わきをしめる

※口中で検温するときは、舌下のつけ根にあててください。

「℃」が点滅すれば検温準備完了 → **検温が開始され、「℃」が点滅**

【ご注意】外気温（周囲環境温度）が 32℃を超えると、感温部が温まり、温度を表示する場合があります。この場合は、感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。

3 温度上昇がほとんどなくなると、「ピピピピィ」とブザーが 3 回鳴るので、検温結果を確認する

温度上昇がほとんどなくなると、「℃」が点灯に変わる

■より正確に測るための時間の目安

わき：約 10 分　口中：約 5 分

4 電源を切って、収納ケースに入れる

お願い 約 30 分後（測定していないときは約 3 分後）に電源が切れますが、電池の消耗を防ぐため、電源は切ってください。

故障かな？と思ったら…

■検温値がばらつく

ここを確認する	処置のしかた
検温するたびに、体温計の感温部のあたっているところが変わっていませんか。	「正しく測るために」を確認してください。

■思ったより検温値が低いと思ったとき

ここを確認する	処置のしかた
体温計を正しくあてていますか。	「正しく測るために」を確認してください。
汗をかいていませんか。	汗をふいてから、もう一度測り直してください。
お知らせブザーが鳴るときの温度について	ブザーの鳴る温度は温度上昇のしかたによって変わります。「検温のしくみ」を確認してください。
予測式体温計で測った場合と比べていませんか。	この体温計は予測式体温計ではなく、実測式体温計です。実測式体温計の場合、ブザーが鳴ったときの温度はほぼ平衡温に達していますが、まだ少し温度上昇します。より正しい体温を測るには、10 分間測定してください。

■電源スイッチを押しても表示部に何も表示しない

ここを確認する	処置のしかた
電池の⊕⊖の向きが間違っていませんか。	電池を正しく入れ直してください。
•電池が消耗していませんか。 •表示部に「⊠」が表示されていませんか。	新しい電池（LR41）と交換してください。

■検温準備中に「37.0℃」が出ない

「36.9℃」～「37.1℃」が表示される場合は、そのままご使用いただけます。ただし電源を入れ直して何度も「36.9℃」～「37.1℃」以外が表示される場合は、オムロンお客様サービスセンターへお問い合わせください。

検温値以外の表示（エラー表示）

表示	エラー表示の原因	処置のしかた
L	感温部の温度が 32℃未満のときに表示されます。	エラーではありませんので、そのまま検温を続けてください。
H	感温部の温度が 42℃を超えるときに表示されます。	外気温が 42℃を超えている可能性があります。感温部を冷やしてもう一度測り直してください。

末永くご使用いただくためのお願い

故障の原因になりますので、下記の注意をお守りください。

●人の検温以外には使用しないでください。
●本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。
●水気が付いたままでケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布でふき取ってください。